

書
前人語人之
秀仁平唯思
寒天終夜更

名墨展

秋期特別展

名 墨 展

期間 昭和57年10月12日(火)
～10月24日(日)

場所 平塚市博物館・特別展示室
(入場無料)

展示品 京都大徳寺高僧の墨跡を中心とした展示

※(大徳寺)京都市北区紫野にある臨済宗大徳寺派の大本山。正中元年(1324)大灯国師(宗峰妙超)の創建、花園上皇・後醍醐天皇の帰依を受け、京都五山の一、さらに五山の上刹となる。のち、五山派に対し在野的立場をとり、禪界に独自の位置を占めた。応仁の乱後一休宗純が入寺、堺の豪商の援助を得て再興。千利休、小堀遠州らが山内に庵を結び、茶の湯など風流の面に特色のある寺として有名。

聲 雪
寒天終夜更
無他事唯思
前大徳天祐
叟書印印

訳しんしんと雪の降る音
静寂の状況
「さむそらのよもすがら
余念なく唯思う」

10月の行事

1	金	
2	土	プラネタリウム 古文書講読会 土曜観察会「高麗山の季節ごよみ」
3	日	プラネタリウム
4	月	(休館日)
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	プラネタリウム
10	日	(体育の日・休館日)
11	月	(休館日)
12	火	
13	水	
14	木	デッサン教室
15	金	デッサン教室
16	土	プラネタリウム 古文書講読会
17	日	プラネタリウム
18	月	(休館日)
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	星を見る会「秋の星座をさがそう」
23	土	プラネタリウム 土曜観察会「高麗山の季節ごよみ」 みんなで調べよう「石仏を調べよう」
24	日	プラネタリウム 地層観察会「亜炭層と化石」 体験学習会「紙をすこう」
25	月	(休館日)
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	プラネタリウム
31	日	(月末休館日)

*10月のプラネタリウムは、「アンドロメダ大星雲」をテーマに投影します。

☆10・11月の行事 ☆☆☆☆☆

あなたも参加してみませんか

● 星を見る会「秋の星座をさがそう」

カシオペア座、アンドロメダ座などの秋の星座を見ます。

日時 10月22日(金) 18~20時

集合場所 博物館・科学教室

参加は自由です。当日、科学教室に18時までにお集り下さい。雨天、曇天の場合も会を行います。



● 自然観察会「秋の自然を訪ねて」

秋の植物や植物化石の観察をします。

日時 11月14日(日) 9~16時

(雨天中止)

場所 中井町井の口周辺

申し込み 往復ハガキで、11月5日までに博物館までお申し込み下さい。



● 体験学習シリーズNo.69

「巣箱を作ろう」

シジュウカラ用の巣箱を作り、高麗山のスギ林にかけてみます。

日時 11月28日(日) 9~16時

場所 博物館科学教室、高麗山

申し込み 往復ハガキで、11月10日までに博物館までお申し込み下さい。申込み多数の場合は、抽選で20名まで。





③

淡水魚を求めて

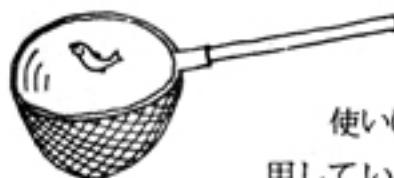
9月8日(水) 小雨

あいにくの天気だったが、ボランティアで淡水魚の調査を手伝ってくれている林弘章さんと、金目方面に出かけることにする。

昨年の9月から始めた市内の淡水魚分布調査も花水川、渋田川など主だった所が終わり、各地の小さな用水を回っている。その間に記録された種類は20種(相模川は除く)で、アユやホトケドジョウが見つかったのがうれしい収穫だった。

小田原厚木道路の鉢川橋から西へ300mほど行った所の用水で、今日最初の調査を始める。川巾は1mほどだが、水は深くさっと120cmはある。両岸と底がコンクリートで固められた、いかにも人工的な用水で、魚のすんでいそうな気配はない。

淡水魚の調査のため、魚を捕えるには、大きな川では投網、小さな川ではタモ網などを使う。こ



うした用水で

は、そのどちらもが

使いにくいのだが、最近愛

用しているのは、投網のクサリのところを2人で持て、なるべく広くひろげ、それを流れの上にザバッ落とす方法である。これだとかなり広い範囲を能率よく調べることができる。

1回、2回・・・と投網落としをくり返すが、かかってくるのはアメリカザリガニだけであった。ザリガニはどこの水系でも多いもので、ウシガエルと並んで平塚市内ではもっとも良く見られる淡水生物である。網にかかったのをはずして川へもどしてやるのに、なかなか手間がかってしまう。

結局、ここでの収穫は、体長10cmほどのドジョウが3匹だけであった。水温は



21.0°C。付近の写真を撮影し、次の調査地点へ向かう。

北金目の用水を1カ所回ってから、青柳に足をのばした。ここは6月にも調査に来たのだが、まったく魚影がなく、近くの農家の方から「今頃は農薬をよくまくから魚がない。秋の方がよい」と聞いていたのだった。雨のせいか、6月よりは水がだいぶにごっていたが、小さな流れに網を入れて待ち伏せ、流れの上方から棒で追いたててみた。網を上げたとたん、キラッと光る魚の鱗・・・。種類も多く、タモロコ、ドジョウ、コイ、さらに金目川の取入口から入ってきたのか、アブラハヤが見られたのも意外だった。

次に、土屋橋の下の金目川で投網を打ってみる。ここは6月の調査ではウグイ、オイカワ、アブラハヤが見つかり、かなりきれいな流れであることが確認された所である。しかし、雨続きの川はかなり増水しており、泥にごりした濁流が激しく流れている。何回かチャレンジするが、投網を投げる技量のせいもあるのだろうが、収穫は0であった。調査とは難しいもので、もしここに6月に来ていなければ「土屋橋では魚はない」と記録されてしまうところである。自然を相手の仕事では、違った条件のもとで、くり返し確認の必要があると肝に命じたことであった。

いったんやんだ小雨がまた降り出し、体も冷えてきた。べんとうを食べるコンディションでもない。もう一カ所達上ヶ池をのぞいて館へ帰ることにする。サイクリングロードを下って、30分ほどで達上ヶ池につく。前から気づいていたのだが、この池にはヨシノボリという小さなハゼが、群生

している。コ

ンクリートの

岸に群れてい

て、近づくと、



ヨシノボリ

サッと深みに散るのがこの魚である。ヨシノボリは本来は川の魚で、卵からかえった稚魚は海に下り、少し成長してから川をさかのぼるという、アユと同じ生活史を送っている。流れ出る川のない達上ヶ池では、稚魚も池で過ごしているのだろうが、それによって他の川のものと形や習性のうえで何か違いがあるのか、興味深いところである。

夜明け前の水星

今年の秋の夜空は、惑星がひとつも見えず、さびしい感じがします。

春から夏にかけて、惑星直列などにぎやかな話題をもたらしてくれた惑星たちは、今月から来月にかけて次つぎに太陽に追いつかれてしまい、見ることができないためです。

しかし、ただひとつ、水星が、明け方の東の空に見えるのです。「はくぶつかん」5月号に夕方見られる水星の話を書きましたが、秋になって明け方に移った水星です。

古代ギリシャの人々は、東の空に見える水星と西の空に見える水星が同じ惑星であるとは気づきませんでした。そこで、東の空に見える水星を、アポロ、西の空に見える水星をマーキュリーと呼んでいました。

見える。といつても太陽から18度ほど離れるだけですから、そう簡単ではありません。東の空が白みはじめる頃に見つかるでしょう。

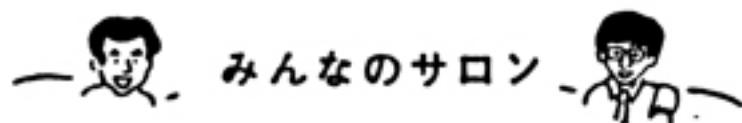
水星が一番太陽から離れ、見やすいのは、18日前後です。ま東より15度ほど南よりの空に、白く光る星が見えたなら、それが水星です。

明け方の5時頃がちょうど良い時間です。もしモヤが出たりしていたら、双眼鏡を使うとはつきり見えると思います。

今年一番の良い条件ですから、早起きをして東の空に注目してみましょう。

-- *** --

おことわり 「教育普及活動の紹介は」は、今回は、お休みさせていただきます。



「なんでも書いてみよう」ノートより

(10月14日)

今日は ふたりともひまで、手書きしました。

博物館を見た後は アラネタリウム

なんか あうてねじてみたい エヘ~

本屋さんへお出でになつたのにアーラー (山城弓子)



トトコ まんこ に まつわ!!

受入寄贈資料（敬称略）

- 8. 13 消防用サシコ、鷺正装一式 市内札場町47-9 高山テル
- 21 現代日本美術全集・鳥海青児、朝の美術散歩・鳥海青児の世界（いずれもビデオカセット・テープ） 東京都世田谷区新町3-25-13 美川きよ
- 27 蕃音機、ソロバン 市内宮の前5-8 落合和彦
- 9. 1 養生館絵ハガキ、県農試園芸部絵ハガキ・写真 大磯町寺坂669 渡辺美代
- 10 市制記念（昭和7年）一括書類 小田原市久野京福台886-2 香川喜次郎
- 生理各論、算法新誌 市内竜城ヶ丘7-23 村松千鶴子

御協力を深く感謝いたします。